

草の根技術協力（地域活性型）案件概要表

Ⅰ．事業の概要	
1. 対象国名	カンボジア王国
2. 案件名	プノンペン都における下水処理場の持続的な運転に係る実務能力向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	プノンペン都では人口増加と都市化により水質汚染が進行しており、住民の安全で衛生的な生活のためには、適切な下水処理が必要である。北九州市上下水道局は 2017 年から 2024 年にかけて、同都のポンプ施設や管路施設の維持管理に関する技術支援を実施し、2023 年には JICA 無償資金協力により同都初の下水処理場が稼働を開始した。今後は処理場職員による運転管理能力の向上や、水質管理、資源の有効活用、市民への理解促進などを通じて、持続的な下水処理体制の確立が求められる。
4. プロジェクト目標	プノンペン都の下水処理場において、下水処理が適切に行われ、下水処理場の持続的な運転のための基盤が整備される。
5. 対象地域	プノンペン都
6. 受益者層	プノンペン都公共事業運輸局（約 10 名）及びプノンペン都民の一部（約 100 名）
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<p><アウトプット></p> <p>1. 作成した水質管理マニュアルに基づき、下水処理場職員の水質管理に関する実務能力が向上する。</p> <p>2. 下水道資源の有効活用について、基本的な知見が深まる。</p> <p>3. C/P の市民への啓発に資する計画立案能力が向上する。</p> <p><活動></p> <p>1. C/P 実務者と協議しながら、施設状況（原水の水質、処理結果）を勘案し、持続的に活用できる水質管理マニュアル（採水手順、水質測定手順）を作成する。</p> <p>2. 下水道資源の有効活用に関する勉強会を C/P と共同で開催する。</p> <p>3. 環境意識や下水処理の重要性を学ぶ市民啓発活動を C/P が主体となり実施する。</p>
8. 実施期間	（西暦）2025 年 10 月～2028 年 10 月（ 3 年 0 カ月）
9. 事業費概算額	58,618 千円
10. 相手国側実施機）	プノンペン都公共事業運輸局（D P W T）
Ⅱ．団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	北九州市上下水道局
2. 主な活動内容	<p>○2017 年 2 月～2020 年 1 月：JICA 草の根事業「プノンペン都下水・排水施設管理能力向上プロジェクト」実施</p> <p>○2019 年 4 月～2023 年 3 月：JICA 技術協力事業「プノンペン都庁及び公共事業運輸省下水道管理能力強化プロジェクト」長期専門家派遣</p> <p>○2019 年 11 月～2024 年 7 月：無償資金協力事業「プノンペン都下水処理場整備プロジェクト」参画（詳細設計、施工監理及びソフトコンポーネント）</p> <p>○2023 年 1 月～2024 年 2 月：JICA 草の根事業「プノンペン都下水道維持管理能力・浸水対応能力向上プロジェクト」実施</p>